



発行・京都障害者スポーツ振興会
題字 芝田 徳造

「第20回障害者シンクロロナイズドスイミングフェスティバル」に参加して

長野アップル水泳クラブ

小林 敏枝

長野アップル水泳クラブは、今回で17回目の参加になります。全国フェスティバルの20回目の記念大会に参加できたことは、今までの17年間を振り返る良い機会であり、また次の10年・20年を考える新たなスタートでした。

ここまで継続できた理由はいくつかあると思います。常に目標があることは大きな要因でした。京都の全国フェスティバルに参加しよう！生活のすべてがこの目標に向かっていることは、大きな励みとなり生きがいとなっていました。1年間の大きなリズムができあがっているのです。今年は特に20回記念大会とい

うことで、いつもの年とは少し違うドキドキ感があつたようです。

近畿水泳連盟シンクロロナイズドスイミング委員 長小山順子先生の講演、イタリアからの選手の参加、交流会など素敵な出会いがたくさんありました。小山先生の「素敵なシンクロをつくるために」のお話しは、毎年頭を悩ませながら演技構成をしている私にとっては救世主のようなお話でした。また、イタリアの Maria Cantero さんの演技のレベルの高さ、そして素敵なお母様との出会いも宝物です。

京都市障害者スポーツセンターでの楽しい時間

を過ごした後ホテルに帰つてからは、フェスティバルに向けての陸上練習が待っています。本番までに行けることを精一杯！がモットーです。

フェスティバル当日はやはり緊張。「いままで練習してきた力を信じて、笑顔でね。」こんな言葉が飛び交います。ボラントイアの方に誘導されてプールサイドで待機。緊張もマックスです。こんな時はボラントイアの方の温かい励ましに救われます。水に入り音楽が始まつたらあとは笑顔で思いつきり演技するしかありません。今年も精一杯の5分間が終わりました。みんなの満足そうな顔に今年も出会えました。よかつた・・・。

帰りのバスの中は反省会です。バスのテレビ画面に演技のビデオを映しながら、「曲がった！ずれた！もつと笑顔で！・・・もう来年に向かっているの？そんな気持ちになるような反省会でした。

なぜみんな続けているの？動きはちつとも覚えられないし、基本の技術はなかなか完成しない。曲に合わせようとすると、動きが中途半端。コーチの檄がとび、練習は本当に大変です。

また、練習するプールを確保するのに一苦労。快く提供してくれる民間のスイミングクラブがあるからできる練習。こんなに大変なのに、みんな「来年もまた」と言う。

障害者シンクロの魅力ってなんだろう？こんなことを思いながら来年の曲を考える今日この頃です。



行事予定	6月	12(日)	461回障害者スポーツのつどい	京都府立体育館	来月のつどいは 7 / 10 第2日曜日
		14(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		19(日)	第31回全京都障害者総合スポーツ大会 総合開会式・卓球バレー大会	京都府立体育館	
		26(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2011年5月8日に一部更新)					

スポ振ルネサンス (38)

「心でつなぐ活動を」

京都障害者スポーツ振興会

副会長 水谷 裕

前回のスポ振ルネサンス(37)でも触れたように、京都障害者スポーツ振興会(以下、振興会という)は、昭和46年に障害のある人々のスポーツ活動の支援団体として全京都心身障害者スポーツ振興連絡協議会という名で誕生して、今年11月29日で満30歳を迎えます。

私が、このスポ振ルネサンスにおいて、時におり書いてきましたとおり、この間、芝田、内山、川面の3人の会長を得て大きく発展をし、世間からも、発足時とは、比べものにならないほどの事業量を任されるようになって、様々な点で大きく変化を遂げてきました。

きました。中でも、振興会が発足当初から、活動の基本理念として掲げ、持ち続けてきた「すべての障害のある人々にスポーツを！」という言葉を基に、どんな障害のある人であつても、スポーツ活動に取り組んでもらえる環境を整備するために、スタッフみんなが意識(理念)を共有しながら、府内各地に活動を展開し、地道に活動を黙って支えて来てくれている人たち(スタッフ)がいて永年守り続けてくれてこそ、今日の「障害者スポーツのつどい」などを府内全域に広げて来れたのです。

ルに向けての競技力の向上)のうち、とりわけ、前者は、「すべての障害のある人々にスポーツを！」を達成するための基盤であり、じつくりと、しっかりと取り組まなければならぬと思います。

の二大活動方針のうち、基盤となる「スポーツの輪を広げる活動」は、障害のある人々のスポーツ活動を支援する運動団体として、とりわけ、推進しなければならぬことは言うまでもありません。



今後の行事より

つどい

乙訓スポーツのつどい

7/31(日)

大山崎町体育館

11/23(祝)

向日市体育館

3/11(日)

向日市体育館

雪遊びのつどい

2/12(日)

花背山の家

講習会

水泳講習会

7/29(金)・30(土)

京都市障害者

スポーツセンター

卓球専門部ワンポイント

講習会

11/5(土)

12/3(土)

1/7(土)

2/4(土)

3/3(土)

京都市障害者

スポーツセンター

体育室・

プレイルーム